

# 新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

## 第六十二話

### 「戦前の文化活動（語り）」（要約文）

昭和十五年の日高毎日新聞（後の日高報知新聞）に、高江俳句会が活動し始めたのは昭和十三、四年頃です。当時の役場の収入役が俳句が好きで、この頃に俳句会を作ったと記憶しています。昭和万葉集に入選した鈴木弦さんも会に入っていました。俳句をするときは穂積弦月を名乗っていました。当時、弦さんは戦争に兵隊として行く前でしたので、まだ十代の頃でした。私も二十代だったので、メンバーは若い人が多かった。弦さんのお父さんは、大正時代に鈴木商店を創業した鈴木守さんで、その方も会に入っていました。

当時は、みんなで俳句などをやっていたのですが、終戦近くに途中で途切れてしまっただけで、当時の教育長さんが音頭をとって、俳句活動が再開しました。また途中で中断しましたが、今度は俳句の小冊子をつくらうという気運が高まって、昭和六十一年に会を新たに発足したのです。

戦前で他に盛んなものでは、とにかく楽しむことが少ない時代だったので、囲碁か

将棋をやることくらいでしょうか。囲碁は、市街地で商店や旅館を経営していた人達が集まって楽しんでいました。毎度、夜となく昼となく集まっては碁を打っていたものです。それと百人一首、カルタがありました。私も好きなものだから、役場本庁舎の近くに会議室があって、そこへカルタを背負ってよく行っていました。

\*かつては新冠文化協会の加盟団体として、「新冠俳句の会」、「新冠囲碁同好会」、「新冠カルタ同好会」、「短歌サークル此の路」がありました。現在は短歌サークルのみとなっています。



判官館森林公園内には、穂積弦月の歌碑が建立されている。

### <防火の基本はそこに住む人の自覚です。>

火災による被害をなくすためには、日ごろから火災を発生させないよう注意するのはもちろんですが、万が一出火したときにどのように行動すべきかを覚えておくことも大切です。被害を最小限に抑えるために、家族、地域ぐるみで防火意識を高めましょう！

消防署新冠支署

火災・救急出動状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	
10月	0件 (0件)	24件 (25件)	
5年1～10月	3件 (6件)	286件 (287件)	
交通事故発生状況 ( ) かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
10月	0件 (1件)	0人 (0人)	0人 (3人)
5年1～10月	3件 (7件)	0人 (0人)	3人 (12人)

### 人のうごき

(令和5年10月末現在)

人口	5,164人	(前月比 - 9人)
男	2,574人	(前月比 - 1人)
女	2,590人	(前月比 - 8人)
世帯	2,819世帯	(前月比 ± 0世帯)

### 戸籍の窓

9月21日～10月20日までの届出分(敬称略)

#### ●いつまでもお幸せに

喜多 祐斗 ♡ 岡崎 唯 西泊津

#### ●お誕生おめでとうございます

京谷 夢輝 (敬太 温美) 中央町  
山本 蒼翔 (翼 ちなみ) 北星町  
福司 結月 (哲也 美穂) 共栄

#### ●おくやみ申し上げます

池田 喜久夫 81歳 北星町  
平山 定一 98歳 美宇  
横井 洋子 84歳 共栄  
今野 徳男 85歳 大富  
角田 光子 91歳 北星町

#### ●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係

☎ 0146・47・2112